
シニア世界選手権2015 (11)

フランス・エギュベレット 30/Aug/2015-06/Sep/2015

遠征レポート - 2015年9月6日



LM4- 西村選手 (NTT東日本) ・田立選手 (戸田中央総合病院RC) ・片岡選手 (明治安田生命) ・今井選手 (NTT東日本)



LM1x 中野選手（NTT東日本）・大元選手（アイリスオーヤマ）

9月4日(金) レース6日目

本日はLM2XのFinal E、LM1X、LW1X、LM2-のFinal C、LM4-のSemifinal C/Dが予定されています。6:30に男子フォアがホテルを出発。コースに来る時に通る長いトンネルを抜けると、辺りが全体的に白く霞んでいました。コースに到着すると水上は霧で真っ白で、山は完全に隠れ、コースからブイは見えない状態。コースは閉鎖され、ひとまず8時くらいまで様子を見るとのことでした。

7:30過ぎになると水面近くが晴れてきて、乗艇可になりました。今日のレースは午後なので、レースのあるクルーも乗艇し、一度ホテルに戻りました。朝方の気温はかなり低かったですが、朝日が昇るに連れて霧も晴れ、徐々に暖かくなってきました。

本日はオリンピック種目のSemifinalとオリンピック非種目のFinalが実施されており、大きな盛り上がりを見せていました。M4-のレースで、開催国フランスがゴール間際で怒涛の追い上げを果たし、金メダルをとったときは歓声に包まれ、選手たちもこの上なく感激していました。

グラウンドスタンドからの歓声に応えるべくして応えたこのクルーは本当に素晴らしいと思います。会場が一体となって自国を応援し、後押しするこの雰囲気は羨ましくありました

本日5レースある内のトップバッターは男子フォアのSemifinal C/Dが15:20発艇。スタートは出遅れ、5位のまま第2クォーターを通過。厳しいレース展開が予想されましたが、第3クォーターより、徐々に追い上げていき、猛烈なラストスパート。2、3着を行くギリシャとウズベキスタンに迫ります。ゴール間際の熾烈な争いの結果、ウズベキスタンに0.65秒差つけてギリシャの次に3着でフィニッシュ。この種目はレベルが高く、苦戦続きでしたが、Final Cに滑り込みました。

男子ダブルのfinalEは16:10発艇。スタートより一位をキープしていましたが、インドネシアとの距離はなかなか離れず、第4クォーターで引き離し、4.5秒差をつけて1着でゴール。全体の25位となりました。



LM2- 陶山選手（明治安田生命）・小林選手（戸田中央総合病院RC）

17:10よりLM2-のレース。3艇レースだったのですが、ギリシャの2-クルーの1人ががフォアに借り出されて棄権。アルメニアと一騎打ちのレースでした。持ちタイムに差があるチームだったため、JPNクルーは独走。前半のコンディションの悪さに苦戦しながらも、ラストスパートまでしっかり駆け抜けました。全体の13位となりました。

17:15に男子シングル須田選手のレース。前半より首位をキープし、2位に一艇身はつけていましたが、第4クォーターより徐々に2位のギリシャが迫り、じわじわと確実にスピードを上げてきてラストスパートで追い抜かれてしまい、2着でフィニッシュ。全体の14位となりました。

本日ラストレースは上田選手。17:20スタート。序盤より先頭集団より遅れる苦しい展開。前半より攻めていきたいところでしたが、トップと並ぶことができず、ラストスパートでの追い上げも効きませんでした。体格差というのもあるかもしれませんが、軽量級選



LM1x 須田選手（アイリスオーヤマ）



LW1x 上田選手（明治安田生命）

手には難しいようなコンディションでも適応する力の違いもあるのかもしれませんが。全体の17位となりました。

本日で男女シングル、ペア、男子ダブルのレースが終了しました。明日はLW2XとLM4-のFinal Cが予定されています。CrewJAPANにとっては今大会ラストレースとなります。最後まで引き続き応援よろしくお願いします。

9月5日(土) レース7日目

本日が日本勢最後のレースとなります。LW2XとLM4-のFinal Cが予定されています。

朝6:30にホテルを出発しました。あたりは暗く、息が白くなるほど寒かったです。もう既にヨーロッパではシーズンの終わりに近づいているのが分かります。女子ダブルとフォアは乗艇、昨日レースが終わったクルーは各自体を動かした後、艇を解体し始めました。今



LW2x 富田選手（明治大学）・大石選手（中部プラントサービス）

回ワールドカップII戦から始まり、III戦、U23、そして、世界選手権とお世話になった艇もフィリピンに返却し、中古艇として売られていきます。

女子ダブルの蹴り出しのときは、上田選手が送り出してくださり、フォアの時、他の選手も集まり、蹴り出しを見守りました。いよいよ11:15、LW2X Final Cです。序盤より先頭集団に出遅れ、オーストリアと最下位争いに。中盤もなかなか距離を縮めることができず、オーストリアにわずかに遅れて第3クォーターを通過。ラストは日本が追い上げ、並びながらゴール。結果は5着。オーストリアを抜き、なんとか最下位は免れました。全体の17位となりました。

日本勢ラストレース、11:35 LM4のFinal Cです。スタートよりドイツはほぼ独走、日本はチリと並び、なんとか他クルーに食らいつきました。徐々に他クルーとの差が開き始め、ラストパートで追い上げるかと思いきや、チリの猛烈なスパートによってさらに離されてしまい、6着でゴール。全体の18位となりました。

これでCrewJAPAN全クルーのレースが終了しました。非オリンピック種目はこの後Final BとFinal Aが実施されましたが、世界のスピードは圧倒的でした。この舞台で闘うことの難しさをワールドカップでも見てきましたが、世界選手権は格段にレベルが上がり、CrewJAPANにとっては厳しいレースとなりました。今シーズンの海外遠征はこの世界選手権が最後となり、来シーズンはまずアジア大陸予選およびスイーブ最終選考会にてオリンピック出場枠を獲得するために引き続き強化していきます。
たくさんの応援ありがとうございました。

9月6日(日) レース8日目

いよいよ長かったレース期間も今日で終わりです。本日はオリンピック種目のFinal BとFinal Aが実施されます。ここでの結果次第でオリンピック出場枠が決まるシビアなレースとなります。

日本チームはレースがないので、朝は各自体を動かし、艇を解体、この度U23で用意してもらったテントも解体、フィリッピに艇とオール、チーム荷物を預けました。本日は軽量級男女ダブルと男子フォア、オープン男女ペア、男女シングル、男女ダブル、男女エイトのレースがありました。Final AではGreat Britianとニュージーランドの圧倒的な強さ



が目立っていました。彼らは必ず優勝しないといけない、という大きなプレッシャーがある中で闘っているようでした。どのレースも見ごたえのあるものばかりで、日本では見られないトップレベルのスピードでした。

レースが終わった後はユニフォームの交換会が開催され、様々な国の人をごちゃ混ぜになって、ローイングスーツなどを交換していました。明日の昼の便でCrewJAPANは日本に帰国します。今週の木曜日に全日本選手権が始まります。CrewJAPANの選手たちはみなレースに出る予定で、日本に帰ってからもう一踏ん張りです。